

北海道のコンテナ物流を支える石狩湾新港

石狩湾新港管理組合
石狩湾新港外貨物利用促進協議会
北海道石狩市新港南2丁目725-1
Tel 0133-64-6661 Fax 0133-64-6666
<http://www.ishikari-bay-newport.jp>

ガントリークレーン2号機が供用開始



ガントリークレーンの性能		
	既設1号機	新設2号機
高さ	48m	51m
長さ	73m	84m
全幅	21m	27m
対応コンテナ	10列×5段積	11列×5段積 ※ハイキューブコンテナ 5段積対応

9月13日の初荷役。船名「SUNNY CLOVER」。荷役作業は無事行われた。



安全祈願祭は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、一部の関係者のみで執り行われました。



北海道日本海側で複数のクレーンを備えるのは本港のみであり、バックアップ体制が確立しました。

新設2号機の特徴

- 11列5段積み、ハイキューブコンテナ5段積対応**
既設1号機よりも広範囲での荷役作業が可能となり、またハイキューブコンテナの5段積みの荷役が可能となりました。
- レールブレーキ追加による逸走防止の更なる向上**
逸走対策を強化することで、荷役作業中の安全性がより向上しました。
- リモートメンテナンスシステムを採用**
不具合が起きた場合、製造メーカーが異常箇所をオンライン上で確認し、迅速な修理対応が可能となりました。

イメージ



ガントリークレーン2号機は昨年度から大分の工場で作成され、9日間の海上輸送を経て7月5日に花畔ふ頭に到着し、翌日岸壁に設置されました。8月19日には石狩湾新港振興会と石狩湾新港外貨物利用促進協議会の共催による安全祈願祭が実施され、初荷役が9月13日に行われました。

ガントリークレーンが2基体制になることにより、事故や故障によるリスクを回避し、コンテナの安定的な輸出入を支え、さらに確実なサービスが提供できるなど本港の利便性が一層高まるものであります。また、同ふ頭では近年コンテナヤードの拡張、冷凍・冷蔵コンテナ用コンテナの増設、小口積替施設の整備を完了しており、北海道のコンテナ物流を支える拠点としての機能が強化されています。

当組合としては、石狩湾新港外貨物利用促進協議会等と連携して、本港の利便性を広くPRし、新たな航路の誘致など、利用拡大に取り組んでまいります。

地球に優しい 最新物流センター

■東洋水産(株)石狩新港物流センター(令和2年5月稼働)

東洋水産(株)は道内最大級(32,381トン)となる冷凍冷蔵倉庫を備える石狩新港物流センターを新設しました。

同センターは自動倉庫や移動ラックを導入することで省力化を図り、冷媒にはアンモニア、CO₂を採用した環境配慮型物流センターであります。また、トラック予約システムを導入し、ドライバーの待機時間削減にも取り組んでいます。

同社北海道冷蔵部では、「当

センターは、主に道内向けの商品の保管と流通加工を一体化することで、輸送網を集約し物流効率化を実現している。今後は石狩湾新港に隣接するメリットを活かし、お客様からの増加する外国貨物の取扱い要望にも応えていきたい。」と話しています。



自動入出庫を行う冷凍倉庫(上)と環境に優しい自然冷媒を用いた冷凍機械室(下)

新たな賑わいの交流拠点

■(仮称)コストコホールセール石狩倉庫店(令和3年4月営業開始予定)

コストコは、高品質な商品を手頃な価格にて提供する会員制倉庫型店であり、全世界で1億人以上の会員がおります。国内では27倉庫店を展開しており、道内では当地域が2倉庫店目となります。

コストコでは、広大な敷地を確保できること、札幌圏から当地域へのアクセス条件が良いことなどから、今回の立地を決定



出店予定地(出典:国土地理院)

し、現在建設を進めています。

当地域内に大型商業施設が立地するのは初めてであり、これまでにはない賑わい交流拠点が形成され、地域で働く方の利便性が高まるとともに、地域がより活性化することが期待されています。

石狩湾新港地域が、もっと多彩に。

石狩湾新港を核とする石狩湾新港地域では、近年物流施設の集積が進んでいるほか、様々な業種が参入し、賑わい空間が形成されております。本港とともに発展し続ける当地域の最新の動向をご紹介します。

地域密着 癒しの空間を提供

■スーパーホテル石狩(令和2年3月営業開始)

スーパーホテル石狩は、当地域で初の宿泊施設であり、連泊や長期滞在プランがあるほか、各種イベントなどで当地域を利用する方にとって、利便性の高いホテルで、多くの港湾関係者が利用しています。

同ホテルでは、「石狩市内飲食店等と連携し、お得なお食事プランやお弁当プランをご用意しているほか、ラウンジではアルコールとソフトドリンク

を無料で提供するウェルカムドリンクバーが宿泊者の皆様にご好評を頂いております。」と話しています。

お客様に癒しの空間を提供し続けていくスーパーホテルを是非ご利用ください。



道内有数の名湯「定山溪温泉」の源泉を利用した天然温泉は大好評。詳細についてはQRコードを参照

業界も驚く 最新技術を導入

■日幸産業運輸(株)石狩第2物流センター(令和2年6月稼働)

日幸産業運輸(株)は、石狩に本拠を置く食品物流企業で、主に道内の物流サービスを提供しております。

新設の第2物流センターではプロジェクションマッピングを活用した仕分けシステムを導入し、天井に設置されたプロジェクターを通じて、床や壁に映像を投影し、内容の指示や進捗状況等を可視化することで、作業効率の向上を図っています。



プロジェクションマッピングによる仕分けシステム

同社の朝井代表取締役社長は、「プロジェクションマッピングを導入している物流センターは世界にここだけで、今後もお客様が驚かれる画期的な取り組みに挑戦し、多くの貨物の取扱を目指す。」と話しています。

YKK AP(株) 北海道工場40周年

当地域に立地する建材メーカー大手のYKK AP(株)の北海道工場が今年で設立40周年を迎えました。

同工場は主に住宅やビルの窓を製造しており、昭和60年に複層ガラスの製造ラインを導入して以降、断熱性能の高い窓の供給が続けています。

同社の鈴木工場長は、「近年の断熱性能の高い樹脂窓の需要増により供給が追い付かず、生産拡大のため中国の工場から石狩湾新港を活用して部材を輸入し生産するなど、同工場は国内において重要な供給拠点となっている。設立40周年という節目を迎え、今後も時代に合わせて事業を拡大するとともに地域貢献も継続していく。」と話しています。



40年前の操業当初の本地域(右上)と工場(左上) 現在の本地域(右下)と工場(左下)